

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 4572 URL <http://www.carnabio.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野公一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 相川 法男 TEL 078-302-7075  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績 (平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	256	△17.9	△236	—	△218	—	△224	—
23年12月期第2四半期	312	△3.5	△187	—	△129	—	△146	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 △227百万円(—%) 23年12月期第2四半期 △161百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年12月期第2四半期	円 銭 △3,825 77	円 銭 —
23年12月期第2四半期	円 銭 △2,499 41	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年12月期第2四半期	百万円 1,051	百万円 791	% 75.2
23年12月期	百万円 1,317	百万円 1,019	% 77.4

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 791百万円 23年12月期 1,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年12月期	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 0 00
24年12月期	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 0 00
24年12月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	728	22.9	△305	—	△289	—	△296	—	△5,058 14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期2Q	58,710株	23年12月期	58,710株
24年12月期2Q	一株	23年12月期	一株
24年12月期2Q	58,710株	23年12月期2Q	58,710株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高基調の為替相場や欧州の財政危機問題が継続するなかで、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。当社グループが属する製薬業界におきましては、医療制度改革やジェネリック医薬品への代替が着実に進行するなか、大手製薬企業における収益悪化の懸念が、新薬候補パイプラインの導入ステージの早期化やバイオベンチャー等の買収となって現れてきております。今後もさらに新薬を開発する大手製薬企業においてオープンイノベーションの流れが加速するものと考えられます。

このような外部環境の中、当社グループは、キナーゼ創薬に係る創薬基盤技術を核とした創薬支援事業並びに創薬事業を積極的に展開し、事業の拡大を図ってまいりました。

セグメント別には、創薬支援事業におきましては、創薬基盤技術の強化の中で拡充してきたセルベースアッセイにおける新規サービスの準備をはじめ、既存ビジネスにおける既存顧客からの継続的受注の確保、新規顧客の獲得ならびにバルクタンパク質の供給メーカーとしてOEM供給体制の確立等の諸施策に取り組んでまいりました。また、創薬事業におきましては、ガンを重点領域としたキナーゼ阻害剤の創製研究を積極的に進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は256百万円（前年同四半期比17.9%減）、営業損失は236百万円（前年同四半期は187百万円の損失）、経常損失は218百万円（前年同四半期は129百万円の損失）、四半期純損失は224百万円（前年同四半期は146百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

## ①創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービスの提供等により、創薬支援事業の売上高は256百万円（前年同四半期比14.2%減）、営業利益は13百万円（前年同四半期比79.9%減）となりました。売上高の内訳は、キナーゼタンパク質の販売116百万円（前年同四半期比26.0%減）、アッセイ開発19百万円（前年同四半期比27.6%減）、プロファイリング・スクリーニングサービス86百万円（前年同四半期比22.5%減）、その他は34百万円（前年同四半期比849.0%増）であります。なお、その他の大幅な増加は、ACD社セルベースアッセイサービス並びにCrelux社X線結晶構造解析サービスの売上によるものであります。

## ②創薬事業

当第2四半期連結累計期間の創薬事業において、売上高の計上はなく（前年同四半期は13百万円）、営業損失は249百万円（前年同四半期は253百万円の損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	1,317	1,051	△265
純資産（百万円）	1,019	791	△227
自己資本比率（%）	77.4	75.2	△2.2

## ①資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,051百万円となり、前連結会計年度末と比べて265

百万円減少しました。その内訳は、現金及び預金の減少77百万円、売掛金の減少8百万円、有価証券の減少200百万円等であります。

②負債の状況

負債は260百万円となり、前連結会計年度末と比べて37百万円減少しました。その内訳は、1年内返済予定の長期借入金の減少7百万円、長期借入金の減少26百万円等であります。

③純資産の状況

純資産は791百万円となり、前連結会計年度末と比べて227百万円減少しました。その内訳は四半期純損失224百万円の計上等によるものであります。

④その他の状況

自己資本比率は75.2%（前連結会計年度末は77.4%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月20日に公表いたしました平成24年12月期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況（重要事象等）が存在しております。

当該重要事象等を解消するために、当社グループは、創薬支援事業においては更に拡販に努めることで売上の上積みを図るとともに、創薬事業においては研究開発をさらに推し進め、新薬候補化合物を製薬企業等に導出することで契約一時金等の収入を獲得してまいります。さらに、研究開発の効率化及び諸経費の節減等により販売費及び一般管理費の圧縮に継続的に取り組んでまいります。

以上により、早期の全社業績の黒字化を達成し、当該重要事象等が早期に解消されるよう取り組んでまいります。

なお、当社グループは事業活動を継続するための十分な手元資金を保有しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	701,634	624,240
売掛金	72,330	64,139
有価証券	200,000	—
商品及び製品	93,506	92,073
仕掛品	1,845	7,188
原材料及び貯蔵品	9,882	11,961
その他	43,962	49,060
貸倒引当金	△28	△34
流動資産合計	1,123,134	848,628
固定資産		
有形固定資産	55,011	70,760
無形固定資産	13,550	12,593
投資その他の資産	125,912	119,840
固定資産合計	194,474	203,194
資産合計	1,317,608	1,051,822
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,223	65
1年内返済予定の長期借入金	69,216	61,566
未払金	25,907	33,312
未払法人税等	5,318	4,110
その他	29,143	26,583
流動負債合計	136,808	125,637
固定負債		
長期借入金	134,140	107,182
繰延税金負債	4,213	4,112
資産除去債務	23,262	23,493
固定負債合計	161,615	134,788
負債合計	298,423	260,426
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,125,632	2,125,632
資本剰余金	673,100	673,100
利益剰余金	△1,757,026	△1,981,637
株主資本合計	1,041,705	817,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,680	△18,245
為替換算調整勘定	△8,841	△7,453
その他の包括利益累計額合計	△22,521	△25,699
純資産合計	1,019,184	791,396
負債純資産合計	1,317,608	1,051,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	312,404	256,591
売上原価	93,751	105,452
売上総利益	218,652	151,139
販売費及び一般管理費	406,185	387,332
営業損失(△)	△187,533	△236,193
営業外収益		
受取利息	292	339
補助金収入	57,354	19,000
その他	2,049	656
営業外収益合計	59,697	19,995
営業外費用		
支払利息	1,522	1,503
為替差損	324	215
その他	153	406
営業外費用合計	2,001	2,126
経常損失(△)	△129,837	△218,323
特別損失		
固定資産除却損	—	148
減損損失	576	5,124
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,243	—
特別損失合計	10,819	5,272
税金等調整前四半期純損失(△)	△140,656	△223,595
法人税、住民税及び事業税	1,172	1,172
法人税等調整額	4,911	△157
法人税等合計	6,083	1,014
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△146,740	△224,610
四半期純損失(△)	△146,740	△224,610

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△146,740	△224,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,470	△4,565
為替換算調整勘定	△165	1,388
その他の包括利益合計	△14,636	△3,177
四半期包括利益	△161,376	△227,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△161,376	△227,788

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△140,656	△223,595
減価償却費	18,061	17,305
減損損失	576	5,124
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	6
受取利息	△292	△339
支払利息	1,522	1,503
補助金収入	△57,354	△19,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,243	—
売上債権の増減額(△は増加)	△43,984	8,466
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,402	△5,878
仕入債務の増減額(△は減少)	—	△7,158
未払金の増減額(△は減少)	36,160	7,345
その他	△3,799	△2,025
小計	△175,111	△218,247
利息の受取額	305	383
利息の支払額	△1,476	△1,454
補助金の受取額	19,000	14,745
法人税等の支払額	△2,410	△2,426
法人税等の還付額	215	143
その他	800	250
営業活動によるキャッシュ・フロー	△158,676	△206,605
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,379	△33,849
無形固定資産の取得による支出	—	△3,510
投資有価証券の売却による収入	815	—
差入保証金の回収による収入	3,537	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,973	△37,360
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△28,896	△34,608
担保に供した預金の増減額(△は増加)	—	27,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,896	△7,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△159	1,179
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△184,758	△250,394
現金及び現金同等物の期首残高	1,173,176	831,634
現金及び現金同等物の四半期末残高	988,417	581,240

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	299,204	13,200	312,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	299,204	13,200	312,404
セグメント利益又は損失(△)	65,832	△253,365	△187,533

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しており差額はありません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	256,591	—	256,591
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	256,591	—	256,591
セグメント利益又は損失(△)	13,244	△249,438	△236,193

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しており差額はありません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、「創薬事業」に係る減損損失5,124千円を計上しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。